

海外安全対策情報（2016年1月～3月）

1. 社会・治安情勢

(1) 2015年大晦日から1月1日にかけて、ケルン中央駅付近に集まった1000人以上の群衆が女性を襲って性的暴行を加えるなどの大規模襲撃事件が発生した。これまでに約1100件の被害申告がなされ、警察は120人を捜査し、14人の身柄を拘束した。本事案をめぐっては、捜査対象者の大多数が「到着したばかりの難民申請者だった」などと報道されたことを受けて、国内外の注目を集めた一方、ケルン市警察の初動対応に対する批判も高まり、同市警察本部長が更迭される事態となった。

(2) なお、期間中、管内において多数の逮捕者や負傷者を伴う大規模な抗議行動はみられなかった。

2. 一般・凶悪犯罪の傾向

一般犯罪について、空港、駅構内、ホテル、レストラン等で邦人被害にかかる置き引きやスリが多発しており、引き続き十分な注意が必要である。

その他の凶悪犯罪について、デュッセルドルフ市中心部で、犯人が被害者をナイフや銃器で脅したり暴行を加えるなどして所持品を奪う路上強盗が発生した。

3. テロ・爆弾事件発生状況

認知していない。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害にかかる事件は認知していない。

5. 日本企業の安全に係る諸問題

注意を要する具体的な情報はみられない。

以 上